

児童委員・主任児童委員活動事例③

「地域出張イベント＆個別子育て相談会」(大阪府大阪市北区)

■ 大阪府大阪市北区の主要データ

基礎データ (平成31年1月現在)	人口:133,702人 世帯数:80,643世帯 学校数:公立小学校11校、公立中学校5校
児童委員・主任児童委員の数	児童委員:定数136人／委嘱者数133人 主任児童委員:定数32人／委嘱者数32人



■ 取組(活動)概要

区内5校の中学校区、7地域(2校は広範囲のため、各2ヶ所開催)において、イベントを開催し、並行して個別子育て相談会を行う。専門職が相談を受け、民生委員児童委員協議会・子育て支援施設・地域子育てサロン・地域ボランティア団体がイベントを中心に行う。

■ 取組(活動)の主催団体

大阪市北区役所福祉課子育て支援室・北区役所健康課・各地区民生委員児童委員協議会・保育所(園)・幼稚園・認定こども園・地域型保育事業所・北区社会福祉協議会・北図書館・大阪府助産師会・北区食生活改善推進協議会・子育て支援施設

■ 主な実施場所

北区スポーツセンター・大阪市男女共同参画センター・老人福祉センター・子ども子育てプラザ・中学校多目的室・地域福祉会館・区役所会議室等

■ 連携・協力機関等

北区歯科医師会・北野病院・地域ボランティア団体

■ 児童委員・主任児童委員の役割、関わり

参加者が多く集まる期待ができるイベントを企画し、地域で広報活動を行う。当日は地域の子育てサロンに継続参加したくなるような場を作るとともに、地域の主任児童委員を覚えてもらうことで日常の見守り活動を円滑にする。

■ 取組(活動)のきっかけ、経緯

課題を抱える家庭に出会える機会を作りたいという思いで、区役所主導のもとに5年前に始まった。それまでは子育て中の親子に関わる機関と連携し、年1回大きなイベントを行っていたが、出向くことで課題を抱える家庭に出会う可能性を高め、早めの支援につなげられるように変更した。

■ 取組(活動)のポイント、留意点

未就学の子どもとその親が興味を持ちそうなイベント内容で参加を促し、幅広い分野の専門職が保護者の些細な不安や悩みを聞き取ることで、「相談」に対する抵抗感を下げ、気軽に相談できる関係を作る。また、諸機関の担当者と児童委員・主任児童委員が親子と関わり、日々の地域での見守りなどの情報共有や連携強化につなげること。

■ 取組(活動)による効果

地域での見守りの役割を求められながら、支援の必要な家庭になかなかつながらなかったが、このイベントを通して、地域子育てサロンには参加しにくい孤立している親と関わる事ができた。また、年5回ほどの連絡会を通し、関連機関との横のつながりを強化することができ、通常の地域子育てサロンでの心配事を早い段階で伝えたり、心配な家庭を地域につなげられるようになった。

■ 今後の展望・課題

相談先がない子育て世帯が多いため、積極的な情報発信と地域連携が必要である。悩みや不安を長期的に抱えないよう、今後も早めの発見に努め、主任児童委員として地域の相談窓口の役割を担っていきたい。未就学児にとどまらず、その後の支援や見守りを必要とする小学生・中学生、不登校や課題を抱えた子ども(親子)の居場所づくりを行っている。